

蚕糸業をめぐる情勢

農林水産省農蚕園芸局繭糸課長 新 庄 忠 夫

1. はじめに

2. 絹の需給状況

◎絹の需給状況（生糸量換算・試算）

単位：千俵

	国 産 生 糸	輸 入 生 糸、 絹 糸、 織 物	輸 入 絹 製 品 (完成品、半完成品)	供 給 計	内 需
55年	269 (63.0)	137 (32.1)	21 (4.9)	427 (100)	389
H3年	92 (28.6)	137 (42.5)	93 (28.9)	322 (100)	317
H3年/55年	34.2%	100.0%	436%	75.4%	81.5%

- ・生糸生産量は、年々減少（約10年間で1/3）。
- ・輸入生糸、絹糸、絹織物の数量は、概ね横ばい。
- ・輸入絹製品（完成品、半完成品）の数量は、急増（約10年間で4倍超）。
- ・絹需要は、緩やかに減少。
- ・以上の状況の中で、国産生糸と輸入生糸・絹製品等とのシェア関係が逆転。国内生糸市場の縮小。

3. 養蚕、製糸、絹織物業の状況

(1) 養蚕業

◎養蚕の概況

	農 家 数	桑 園 面 積	収 繭 量	一 戸 当 た り	
				桑 園 面 積	収 繭 量
昭和	千戸	千ha	千t	a	kg
5 0	2 4 8	1 5 1	9 1	6 1	3 6 7
5 5	1 6 6	1 2 1	7 3	7 3	4 4 1
6 0	1 0 0	9 7	4 7	9 7	4 7 4
6 1	8 7	8 9	4 1	1 0 2	4 7 7
6 2	7 4	7 9	3 5	1 0 7	4 6 7
6 3	6 2	7 0	3 0	1 1 3	4 7 4
元	5 7	6 4	2 7	1 1 2	4 6 9
2	5 2	6 0	2 5	1 1 4	4 7 9
3	4 4	5 5	2 1	1 2 4	4 7 4

飼料：養蚕統計及び農蚕園芸局調査

- ・養蚕従事者の高齢化、生産性向上の立遅れ等により、養蚕農家数、繭生産量ともに年々減少（約10年間で1／3、約5年間で1／2）。

◎繭生産費

上繭 1 kg 当たり繭生産費の推移

(単位：円)

	55年	60年	62年	63年	元年	2年	3年
物 財 費	1,056	1,169	1,119	1,161	1,227	1,222	1,200
うち肥料費	229	247	215	209	221	232	227
農蚕具費	164	213	219	224	234	216	208
労 働 費	1,696	1,919	1,891	1,963	2,073	2,141	2,062
費 用 合 計	2,752	3,088	3,010	3,124	3,300	3,363	3,262
第1次生産費	2,741	3,081	3,006	3,115	3,287	3,355	3,257
第2次生産費	2,994	3,385	3,324	3,437	3,611	3,683	3,574

資料：統計情報部「繭生産費調査」

(注) 62年以降は掃立卵量3箱以上、3年以降は6箱以上の平均。

(2) 製糸業

◎生糸生産の動向

項目 生糸破	生 糸 生 産 量	製 糸 工 場 数
55	2 5 7 千俵	2 7 9 工場
60	1 4 7	1 6 0
61	1 4 0	1 4 4
62	1 2 4	1 2 9
63	1 0 8	1 2 7
元	9 8	1 1 9
2	9 5	1 1 5
3.6~4.4	8 3	1 1 4

(注) 工場数は各生糸年度末現在である。

- ・国内生糸需要の減少等により、製糸業も縮小。

(3) 絹織物業

◎絹・絹紡織物の動向

(単位：千㎡)

年	項 目	生 産	出 荷	在 庫
昭和	5 0	168,472	176,861	9,825
	5 5	151,889	161,597	6,907
	6 0	114,538	119,405	5,905
	6 1	108,221	112,356	6,276
	6 2	99,933	105,079	5,188
	6 3	103,021	106,939	5,389
平成	元	96,679	99,214	6,580
	2	83,664	87,819	5,591
	3	80,667	84,966	4,311
4. 1	～ 4. 2	12,469	13,195	8,074

資料：通商産業省「繊維統計月報」

- ・和装需要の減少に加え、外国絹製品の輸入増大、品質向上により、国内絹織り物の規模が縮小。絹織物業者の経営悪化、生糸需要の減退。

◎生糸・玉糸消費の用途別割合

(単位：％)

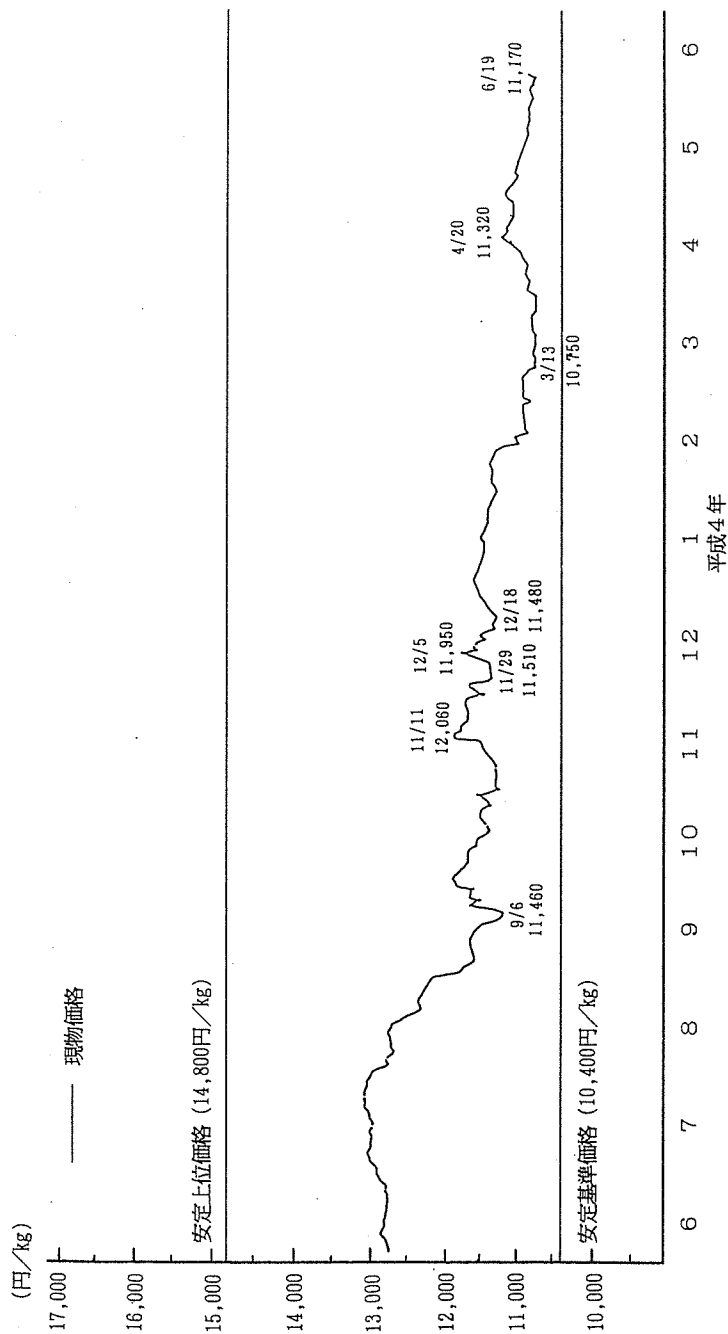
用 途	5 5	6 0	6 1	6 2	6 3	元	2
白 生 地	62.1	57.0	56.4	54.9	56.2	53.9	53.7
先 染 着 尺	9.2	7.9	6.8	6.3	5.8	5.6	5.6
帯 地	14.5	14.8	15.2	15.4	13.7	15.1	16.5
和 装 小 物	2.0	2.6	2.6	2.9	2.9	3.4	3.8
(和装関係小計)	87.8	82.3	81.0	79.5	78.6	78.0	79.6
内 需 洋 装 用	3.4	4.0	4.3	4.6	4.9	5.9	5.9
洋 品 雑 貨	3.5	4.8	5.6	6.6	7.7	7.7	6.6
室 内 装 飾	0.8	0.6	0.8	1.1	1.2	1.3	1.6
縫糸・座布団地等	2.1	2.2	2.2	2.4	2.3	2.3	2.2
輸 出 用	2.4	6.1	6.1	5.8	5.3	4.8	4.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
消費量合計(千俵)	352	266	245	224	235	219	196

資料：蚕糸砂糖類価格安定事業団調査

4. 生糸価格の動向

- ・昨年8月以降、生糸価格は下落傾向、低水準で推移。

◎ 最近における生糸価格の推移（横浜）



5. 国際情勢

(1) 繭、生糸の生産状況

- ・繭、生糸の世界的な増産傾向、需要の緩和

◎ 世界の繭生産高

(家蚕繭)

(単位：トン)

項目 国別 年次	生産高			同左構成割合 (%)		
	1988	1989	1990	1988	1989	1990
日本	29,600	26,800	24,900	4.8	4.0	3.4
中国	394,000	434,000	478,000	63.4	64.4	65.6
インド	96,500	110,400	116,700	15.5	16.4	16.0
ソ連	45,000	45,000	46,000	7.2	6.7	6.3
ブラジル	11,800	11,500	15,800	1.9	1.7	2.2
北朝鮮	14,000	14,000	14,000	2.3	2.1	1.9
タイ	12,800	13,100	13,400	2.1	1.9	1.8
ベトナム	2,000	3,700	5,000	0.3	0.5	0.7
韓国	5,900	5,500	4,600	0.9	0.8	0.6
トルコ	1,300	1,300	1,300	0.3	0.2	0.2
その他	9,000	9,000	9,000	1.4	1.3	1.2
合計	621,900	674,300	728,700	100.0	100.0	100.0

資料：蚕糸砂糖類価格安定事業団推定

◎ 世界の生糸生産高

(単位：俵)

項目 国別 年次	生産高			同左構成割合 (%)		
	1988	1989	1990	1988	1989	1990
日本	114,400	101,300	95,300	11.3	9.4	8.3
中国	560,000	620,000	680,000	55.4	57.5	59.3
インド	161,400	181,800	191,500	16.0	16.8	16.7
ソ連	60,800	63,800	68,200	6.0	5.9	5.9
ブラジル	29,200	28,300	28,200	2.9	2.6	2.5
北朝鮮	23,000	23,000	23,000	2.3	2.1	2.0
タイ	18,000	18,500	19,000	1.8	1.7	1.7
韓国	22,300	18,200	15,800	2.2	1.7	1.4
ベトナム	3,300	6,100	8,300	0.3	0.6	0.7
トルコ	3,500	3,500	3,500	0.3	0.3	0.3
その他	14,500	14,500	14,500	1.4	1.3	1.3
合計	1,010,400	1,079,000	1,147,300	100.0	100.0	100.0

資料：蚕糸砂糖類価格安定事業団推定

◎生糸の内外価格差

項 目 暦 年	横浜現物価格	保税生糸(中国建値 21中2A)		(A)／(B)	円・ドル レート	
	(A)	(B)	指 数			指 数
昭和 5 0	11,395 円	6,731 円	1 0 5 %	1 6 9 %	297.87 円	124 %
5 5	14,642	7,003	1 0 9	2 0 9	227.84	95
5 6	14,242	6,666	1 0 4	2 1 4	221.78	92
5 7	14,861	6,928	1 0 8	2 1 5	250.15	104
5 8	13,911	6,599	1 0 3	2 1 1	238.52	99
5 9	13,474	6,128	9 6	2 2 0	238.58	99
6 0	12,365	6,400	1 0 0	1 9 3	240.17	100
6 1	12,254	4,592	7 2	2 6 7	170.08	71
6 2	10,380	4,102	6 4	2 5 3	146.01	60
6 3	12,636	4,980	7 8	2 5 4	128.15	53
平成 元	15,322	6,717	1 0 5	2 2 8	137.26	57
2	13,052	6,883	1 0 8	1 9 0	145.09	60
3	12,549	5,727	8 9	2 1 9	137.84	57
4 . 4	11,120	4,668	7 3	2 3 8	133.37	56

(2) ウルグアイ・ラウンドの動向

① 農業交渉におけるドンケル・ペーパー（ガット事務局案）の要点

ア 非関税措置の関税化

・関税割当制への移行、関税相当量（2次税率）の削減

・アクセスの維持、拡大

イ 国内支持（AMS）の削減

ウ 輸出補助金の削減

② 繭、生糸の取扱い

③ 繊維交渉の概要

6. 課 題

(1) 養蚕業の生産性の向上

(2) 繭、生糸、絹織物の高品質化、差別化

(3) 絹需要の増進

(4) その他